

質問	幕末の頃、嘉年(=かね、山口市阿東)にあった郷勇隊について知りたい。
回答	<p>「阿東町誌」より 市原儀伝太貞盛(いちのはらぎでんだ)に付いて書かれた文献によると、慶応年間、萩藩で農兵を徴募するにあたり、その用掛を命ぜられ、教官・国司 某を助けて 日夜練兵につとめた。のち抜擢されて嘉年村郷勇隊司令士となり、四境の役が勃発すると直ちに部下を率いて石州に攻入り、諸所に転戦した。</p> <p>「阿東町史余話」より 嘉年下村 庄屋安田瀬兵衛存内 畔頭藤井作右衛門組 先郷勇隊頭取 市原儀伝太 三十六歳 右慶応二年寅年、石地戦争之節嘉年村郷勇隊一中隊共に石州横田村工出張被仰付居候、瀧弥太郎様、大村益次郎様、平岡兵部様御居合、益田順念寺二呼出被仰付、儀伝太事兼而石地案内者郷勇隊被差除本陣詰被仰付トノ御切紙、高田春太郎(井上聞太)ヨリ頂戴被仰付……</p> <p>物語の里嘉年(かね) 木製の大砲 市原儀伝太が嘉年で郷勇隊を組織しておられた頃、井戸に松の木筒に竹のタガを沢山はめた大砲があったそうです。～試し打ちをしてみたら、「それ長州藩が攻めて来た！」と大騒ぎになった。</p>
回答のプロセス	
資料	<p>阿東町誌P、449 阿東町史余話P、186 物語の里嘉年(かね)P、125</p>
備考	阿東町制施行五十年史P,176写真15の郷勇隊旗は市原家に現存している。